

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・客単価は上昇しないが、来客数が全体的に増加している。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・6月に入り、個人店を中心に、得意先からの自発的な注文となる「オンライン注文」が、前年に比べ5%程度増加している。
		コンビニ（営業担当）	来客数の動き	・来客数は前年を上回りつつある。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・6月の販売量は、前年比138%、前々年比132%と、補助金効果により大きく増加している。
		乗用車販売店（統括）	お客様の様子	・求人申込の問い合わせなども多く、仕事の量も多くなっている。今までとどこが変わったかははっきりしないが、動きが大きくなっている感じがする。
		その他専門店【海産物】（支配人）	来客数の動き	・昨年は新型インフルエンザ等の影響で悪すぎたが、今年は昨年より団体客が増加してきた。
		その他小売店【ショッピングセンター】（営業担当）	販売量の動き	・売上高の前年同月比の比較では、先月に比べ今月は5%ほど上昇している。
		観光型ホテル（支配人）	販売量の動き	・例年6月は梅雨時期で閑散期であるが、今年は団体、個人とも好調に推移し、例年を上回る売上で推移している。特に婚礼部門の伸びが大きく、個人客の利用も堅調で、飲料部門も順調であった。
		都市型ホテル（従業員）	販売量の動き	・4、5月低調であった宴会、宿泊部門が、6月から回復している。
タクシー運転手	販売量の動き	・約半数の企業でボーナスが出ており、客からは「去年より良い」という声をよく聞く。また、当社の売上も3か月連続して前年を10%上回っており、景気はやや上向いている。		
テーマパーク（管理担当）	来客数の動き	・入館者が増加している。		
変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・中心市街地活性化の動きがあるが、新しい店舗がようやく動き出した段階で、すぐに人通りや来客者の増加につながることはなく、話題になっているだけの状況である。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・高速道路料金引下げによる、土日の集客力の低下が依然として続いている。	
	一般小売店【茶】（経営者）	販売量の動き	・明るい話題がなく、相変わらず厳しい状態が続いている。	
	一般小売店【印章】（営業担当）	お客様の様子	・相変わらず中小企業及び一般顧客の注文が少なく、景気が上向いているという一部報道に対して、良くなっていると感じられない。また、新聞チラシ5万枚を、市内に配布したが、前面に売りたい商品を出し、客の求める安い商品を出さなかったため、客の反応が悪かった。	
	百貨店（営業担当）	単価の動き	・婦人服、婦人雑貨は、相変わらず気候、気温に影響され、少し気温が上がれば来客は増加するが、客単価の低さは変わっていない。	
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・4月には前年同月の実績を上回ったことから、5月には期待したが、天候不順で同95%と落ち込み、6月も90%を少し上回る程度で低迷を続けている。	
	百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・中元商戦がスタートし、割引価格の適用がある6月は順調に推移している。また、3,000円未満のギフトが人気を集めるなど、価格に対して慎重な客の姿勢が続いている。なお、子ども手当でも支給されたが、購買促進にはつながっていない。	
	百貨店（営業企画担当）	単価の動き	・食品の特売日を新規に設定したところ、低価格商品へは顧客の強い反応があった。	
	スーパー（店長）	単価の動き	・来客数の増加は今一つで良くはなく、販売量も件数が増加していない。	
	スーパー（店長）	単価の動き	・ここ3か月以上、客単価は前年比96%が続いており、金額にすると約70円の低下となっている。	

スーパー（店長）	来客数の動き	・ここ3か月、来客数は前年比90%前後で推移している。依然として厳しい状況であるが、悪いなりに同じ状況が継続することで、底打ち感がある。
スーパー（店長）	単価の動き	・来客数は回復基調にあるが、平均単価の上昇が望めない状況である。
スーパー（店長）	来客数の動き	・今年は厳しかった昨年以上に厳しい状況で、来客数の前年割れが2年以上続いている。
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・来客数は、前年同期比では10%減少しているが、前月比では1～2%改善している。一方、客単価は前月、前々月と20～30円程度低下し続けており、客単価低下の影響で売上は非常に厳しい状況である。客の多くは昼食にコーヒー、野菜ジュース、パンだけ、またはおにぎり2つとお茶だけで過ごしている。
衣料品専門店（地域ブロック長）	来客数の動き	・セールによって来客数の増加を図っているが、引き続き単価については厳しい状況が続いており、単価の低下分を来客数の増加でカバーしている状況である。
衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・依然として客は必需品以外は購入しない傾向にある。また、セール、夏物バーゲンも毎年実施が前倒しとなっているものの、実際の客の購入時期は、ボーナスが支給された後である。
家電量販店（店長）	お客様の様子	・商品の比較に慎重で、他店との価格の比較等に研究熱心な客が多くなり、財布のひもが固いこともあって、買上までに時間を要している。
乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・毎週、催物やイベントの開催で集客しており、来客数に大きな変化はなく推移している。補助金の期限が9月末であることから、対象車両は順調な販売ができており、大きな落ち込みはないが、駆け込み需要と言えるほどの需要でもない。
乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・補助金効果も落ち着いて、安定してきている。
その他専門店【布地】（経営者）	単価の動き	・夏物が少しずつ売れるようになってきたが、値段の高いものは敬遠されている。
その他専門店【和菓子】（営業担当）	来客数の動き	・3月に回復傾向にあったが、それ以降は変化がない。
高級レストラン（スタッフ）	単価の動き	・客は予約のときに低単価志向で、内容の良いものを選択する傾向が強い。
その他飲食【ハンバーガー】（経営者）	来客数の動き	・客単価の落ち込みはサイズアップなどにより解消してきたが、来客数が維持できなくなっている。
都市型ホテル（総支配人）	販売量の動き	・参議院選挙が真近ということもあり、6月に入り宴会を中心に予約が伸びておらず、販売金額で前年を下回っている。
都市型ホテル（支配人）	販売量の動き	・6月を代表するイベントである展示会や婚礼等の需要があった。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・今年5月は、昨年新型インフルエンザの影響で悪かった反動で良かったが、6月に入りその勢いがなくなった感がある。結婚式の会場下見に来る客の人数が昨年と比べ少し減少気味となっている。
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・サッカーワールドカップ、新型多機能情報端末、3Dの話題は、映像サービス商品の積極的な購入を後押ししている。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・ネットワークの更新情報はあるが、新規の構築案件はなく、全体として費用削減の要求は強くなっている。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・昨年からの解約数が計画を上回って推移するなかで、新規契約の引き合いが弱い状況が続いている。
通信会社（広報担当）	お客様の様子	・消費活動は控えめに推移しており、目に見えた来客数の増減はないが、注目の商品があれば購入に動いている。
テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・梅雨入り後の週末に、降雨を観測する日が多く来園者は伸び悩んでいる。
テーマパーク（広報担当）	来客数の動き	・天候不順が続いて個人客が減少しているが、団体客は前年と比べ増加している。
ゴルフ場（営業担当）	来客数の動き	・梅雨入りし前年同様雨は少ないものの、事前予約が少なくなっており、同業者の割引も依然として変わらず、売上は減少傾向にある。
競艇場（職員）	来客数の動き	・来客数、売上金額共に横ばいである。

やや悪くなっている	設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・新築の件数が大幅に減少している。競合他社からも、仕事が少ない情報ばかりが入ってくる。
	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・引き合いの件数が減少したままで、客の話を聞いても回復の兆しは感じられない。
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・来客数は、前年同時期に比べて依然1～2割増加が続いている。
	商店街（代表者）	単価の動き	・少し前までの消費が冷え切っているという状態ではない。子ども手当が支給され、その影響が若干あることから、売上は前年ベースで見ると底を打った感があるものの一部にとどまっている。
	商店街（理事）	販売量の動き	・客の購入姿勢について、買い控えではないが、先行きの不安から、「必要なものを、必要な時に、必要なだけ」という買い方をしており、余力があっても蓄えに回っている。
	一般小売店〔酒場〕（経営者）	お客様の様子	・5月に続き6月も、得意先の飲食店からの注文が低調である。昼夜共に人の動きが悪く、大学生の減少が飲食、物品販売の減少に影響してきている。
	一般小売店〔紙類〕（経営者）	来客数の動き	・外部からの観光客の数は、順調に増加しているが、地元周辺の商圈に住む人の活動が止まっている。
	一般小売店〔酒場〕（営業担当）	販売量の動き	・商売上手な店でも、なかなか来客がない状況で、料飲店の売上が軒並み減少している。また、土日に売上が集中し、平日は客が非常に少ない状況である。
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・6月は前半梅雨入りが遅れ、サンダルなど季節物が順調で、婦人服を中心に先行優待会も好調で、前年を上回って推移していたが、後半の21日以降急失速した。店全体としては、昨年のクリアランスセールを大幅に下回り、前年比97%となる。
	百貨店（購買担当）	お客様の様子	・6月は、子ども手当支給に向け、店内挙げて仕掛けを行ったが、売上には全くつながらない状況である。また、「うまいもの店」等食品関係の催事を行ったが、売れる商品は限定的で、他の商品が厳しかった。更にクリアランスセール前ということで、客の買い控えを懸念したが、来客数自体が減少しており、今月はかなり厳しい状況が続いている。
	百貨店（売場担当）	来客数の動き	・都市圏では、前年比で下げ止まり感が出てきているようだが、地方においては依然として前年に比べ厳しい状況が続いている。
	百貨店（販売担当）	お客様の様子	・天候不順のため、半袖やTシャツ等の夏物商品の売行きが悪いこともあり、客の買い控えが続いている。
	スーパー（開発担当）	販売量の動き	・景気の問題ではなく口蹄疫の影響だと思われるが、精肉、特に和牛が8ポイントも落ち込んでおり、単価の張る食材なので厳しくなっている。
	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・暮らしの目玉だった「冷凍食品半額」のセールは、競合店も定期的に行うため、まとめ買いをする人がいなくなっている。
	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・今月の売上はひと月を通して前年比1%弱悪い状況が続いている。昨年が悪かったことから今年は期待したが、天候の影響で来客数も少なく、客単価は大幅に低下している。また、計画的な商談は順調だが、計画外の特別な商談は成立していない状況である。
	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・来客数では昨年からの落ち込みは底を打ったが、売上個数、1品単価の低下に歯止めがかかっていない。
	衣料品専門店（経営者）	競争相手の様子	・悪い景気のまま先月に続き商店街の別の同業者の閉店セールが始まった。
衣料品専門店（地域ブロック長）	販売量の動き	・競合店では低価格での販売が続いており、当社も値段の安い商品しか売上が伸びていない。	
衣料品専門店（販売促進担当）	販売量の動き	・6月は、前半は来客数、売上共に昨年より動きが良かったが、20日以降の梅雨入りから来客数が減少し、売上も昨年をやや下回っている。特に女性客は夏のバーゲンを待っている様子である。男性物では5分袖シャツとショートパンツが前年比200%と好調だが、ジーンズとTシャツが苦戦している。	
乗用車販売店（サービス担当）	お客様の様子	・客の購買意欲が低下している。昨年は店頭での成約率が50%程度だったが、今は30%程度に落ち込んでいる。客は車は必要だが、安くても良いものを物色している様子である。	

	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・タイヤやナビゲーション等の主力商品は、単価の低下はあるものの、先月までは数量は前期実績を上回っていたが、今月の中旬以降は、前期実績を下回るようになってきている。	
	その他専門店 [時計]（経営者）	単価の動き	・宝飾品の売行きが悪い状況である。	
	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・団体旅行の動向が非常に悪い。景気の回復もなく、参議院選挙もあり、今後2～3か月は旅行動向が見込まれない。	
	タクシー運転手	販売量の動き	・ゴールデンウィーク明けからの落ち込みが、いまだ尾を引いている状態である。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・梅雨に入ると客の利用が増えるが、出歩く人が少ない状態が続いているため、タクシーの利用は非常に落ち込んでいる。	
	通信会社（通信事業担当）	単価の動き	・既存顧客についても、サービスメニューの見直し、オプションサービスの解約などがあり、単価が低下している。	
	美容室（経営者）	競争相手の様子	・安価な商品の店に客をとられ、ますます客が減少していく状況にある店が多い。	
	美容室（経営者）	来客数の動き	・改正貸金業法の完全施行で、クレジット等の借入金額は年収の3分の1という引き締めが行われたことで、客の財布のひもが固くなっている。	
	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・客の消費行動が鈍化し、慎重になっている。	
	住宅販売会社（経理担当）	お客様の様子	・住宅の販売イベントを実施しても集客数は少なく、依然顧客の動きが悪い状況である。販売価額を大きく値下げすれば、その物件だけ顧客が来場する状況であり、できるだけ安く購入しようとする顧客の心理が表れている。	
悪く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・昨今の公共事業等の大幅な削減に加え、政治が不安定なうえで参議院選挙も始まり、特に飲食業等の落ち込みがかなり厳しい状況である。	
	スーパー（財務担当）	単価の動き	・競合店との低価格競争がますます激しくなっており、1品単価の低下で、客単価が前年の99.1%になっている。	
	住関連専門店（広告企画担当）	単価の動き	・単価の低下が続いている。	
	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・前年比二けた台の減少が続いている。	
	スナック（経営者）	お客様の様子	・参議院選挙のほか雨の日が多く、人の動きが悪くなっている。	
	その他飲食 [サービスエリア内レストラン]（支配人）	販売量の動き	・6月に入り一部観光客数の減少もあり、販売量が急激に減少している。特に飲食関係の落ち込みが激しくなっている。	
企業 動向 関連	良くなっている	輸送用機械器具 製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車部品製造を請負っているが、地元メーカーの生産が上向いている関係で、忙しくなっており受注が多くなってきている。
	やや良くなっている	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・環境関連の特定部門の受注が増加基調にある。
		鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・自動車部品やエレクトロニクス材料の受注は堅調に維持しており、今年上期はこの状況が続く。
		輸送用機械器具 製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・リーマンショック前の水準の9割程度まで回復してきている。先行きは欧州経済の動向など不透明感があるが、直近はまずまずの景況感である。
		通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・今年度の設備投資に係わる提案依頼が増加している。3か月前と比べると、客の検討スケジュールや導入時期も明確となっており、本格的な投資が検討されている。
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・取引先は従来より売上低迷に苦しみ、費用削減によりなんとか事業存続しているところが多いが、ここに来て売上がわずかではあるが前年同月比で増加に転換するという話を聞くようになった。これは、ここ数年で全く見られなかった傾向であり、力強さには欠けるが景気としては少し明るい希望を持てる状況になっている。	

変わらない	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・工場の生産量は少し上向きつつあるが、生産調整は依然として続いている。	
	非鉄金属製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量の変動はほとんどみられない。	
	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は生産能力の50%程度にとどまっており、厳しいと言わざるを得ない。この状況は昨年7月以降変わっていない。	
	一般機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・自社製品の売上について、国内では回復に向かっており増加傾向がみられるが、海外は引き続き伸び悩んでおり、厳しい状況である。	
	輸送業（統括）	それ以外	・輸送部門のうち、海運関係で東南アジア方面は輸出が好調で景気が上向いているが、トラック輸送等陸上部門が低調なため、全体的にはほとんど変わらない。	
	輸送業（運送担当）	取引先の様子	・他の運送業者から得意先の件数が減ってきているとの話をよく聞いている。	
	金融業（業界情報担当）	取引先の様子	・部品サプライヤーの国内生産は前年比プラスを継続し、残業・休日出勤が増加している。コスト削減効果により、利益率は大幅に上昇しているところが多い。	
やや悪くなっている	会計事務所（職員）	取引先の様子	・一部の製造業には受注量の回復の兆しがあるものの、金額面では反映されておらず、販売業も動きが鈍いことから、前期の売上高を上回るところは少ない。	
	食料品製造業（業務担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格、販売価格共に低下してきている。	
	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・鉄鋼業向けは回復しているが、自治体焼却炉向けの受注量が激減しており、6月は部署によっては休業及び教育訓練など2～5日の雇用調整を実施している。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・親会社から3年間の段階的な製品の値引きを要請されている。6月末に今回の価格が判明するが、それによって親会社や外部販売先と品目別に値段を再交渉し、少しでも売上を確保しようとしている。	
	不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数、成約件数共に減少している。	
悪くなっている	その他サービス業〔建築物清掃業〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格が更に低下している。	
	農林水産業（従業者）	それ以外	・5月の状況を3か月前である2月と比較すると、水揚数量は1,800トン、水揚金額は5,380万円の減少である。また、前年同月と比較すると、水揚数量は1,200トン（前年同月比38.5%）、水揚金額は6,610万円（同83.4%）の減少となっている。	
雇用関連	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・国産商品に関しては相変わらず値下げ要請が続いており、高付加価値商品が不振である。	
	良く なっている	-	-	
	やや良く なっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・製造業からの人的需要が少しずつ増えてきている。海外需要の復活に起因する増員や、リストラで人を減らしたことによる補足的増員など、その背景も様々であるが、製造業の多い当地域においてはやや明るい傾向である。
	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・3か月前に比べると求人数が若干増加している。	
	求人情報サイト運営（支店長）	求人数の動き	・今までは事業の見通しが不明確だったことから、採用活動が抑制されていたが、先の見通しが立ってきたことから、企業からの中途採用に関する問い合わせが増加している。	
	求人情報誌製作会社（担当者）	周辺企業の様子	・企業への聞き取りアンケートでは、来年度の採用を増やすと回答した企業が昨年より増加している。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人数が前年同月比3.8%増加しており、少し動きが出てきている。	
職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人は5か月連続で前年同月を上回った。製造業は8割増となり、特にハードウェア製造関係の増加が目立ったが、中長期的な見通しが立たないことから、臨時求人にとどまり、常用求人の提出には至っていない。		
職業安定所（職員）	求人数の動き	・わずかではあるが製造業を中心に、新規求人数の増加がみられる。介護、福祉関係も求人意欲が高い。		

変わらない	求人情報誌製作 会社（支社長）	求人数の動き	・正社員の求人が少しずつ増加している。
	民間職業紹介機 関（職員）	採用者数の動き	・企業から増員に向けた中途正社員となる人材紹介の 依頼を受けたが、結果的に契約社員採用となった。企 業は正社員の採用に慎重になっている一方で、正社員 勤務を希望する離職者への対応もむげに断れない状況 である。希望通りの条件での採用が難しく、雇用情勢 が回復している状況にはない。
やや悪く なっている	-	-	-
悪く なっている	職業安定所（職 員）	求職者数の動き	・求人数は前年と変わらないが、中高年齢層の求職者 が、就職が決まらず長期滞留する傾向があり、窓口は 4月同様に混んでいる。